

WHAT IS CLAIMED IS:

An alternator comprising:

a brush holding assembly (21) having two square openings (12), the portion between said square openings (12) being provided with a square hole (23);

brushes (8) each of which are housed in said square opening (12);

a rear bracket (4) which is provided with a vent (28) at outer portion thereof, said rear bracket (4) being formed as an inverted T, said vent (28) placed in the axial direction of said square hole (23); and

a pin (30) which passes through the longitude of said square hole (23) and said vent (28),

wherein the horizontal portion (30a) of said pin (30) is engaged on the underside of said brushes (8) when said pin (30) is turned at 90 degrees after passing through said square hole (23) and said vent (28).

ところで、ブランクセントリ8Jを採用するため
には、ブレーケットを穴14もしくはカバー15の用
意に沿わなければなりません。また、カバー15、
この発明の特徴は、ブレーケット外側における子
保持器に、帽子を持ち上げて保持するための逆丁
することである。

明 細 勢
登の名前 父親等の明示保持要等
花粉等の薬品
細子保持装置 2.1 の 2 つの細子貯蔵槽穴 1.2 の中
間に穴 2.3 を設け、交配後子供の II ヤプラケッ
ト 4 の外周部等との軸元の中心線上穴 2.8 を
設け、被説穴 2.5 は近丁字状の細子保持用のビ
ン 3.0 を所定穴 3.9 から 1.6 倍穴 2.3 の長辺に沿
て斜入し、このビンチ 9.0 を回したとき逆丁字状
のビン 3.0 の水平片 3.0 が 2 つの端子取扱金穴
1.2 に収容された細子 8 の下面に掛合するようを
形状としたことを特とする交配装置の細子
保持装置。
本明の詳細な説明
この发明は自動車用交換器等に好適な細子
保持装置に関するものである。
従来の自動車用交換器等の細子保持装置は都
て回かい式が主流である。图面において、
1 号伝子子 2 の一端に装着されたセザップリンク
3 は回転用。4 はヤプラケットである。5 は電子
保持部で、電子止金具 6 と共にねじ 7 で止め
紀リヤプラケット 4 の一部に固定される。また、
可 3 回に示すよりに、伝子 8、副子 9 テーナル 9、
副子ハネ 1.0、副子ターミナル 1.1 と一緒に成
した副子アセンブリ 8 は、副子 8 が副子保持部
5 の側穴 1.2 に嵌入され副子ターミナル 1.1 は副
子止金具 6 の一側にねじ 1.9 で固定される。
1.4 は副子アセンブリ 8 の底板のためて、リヤ
ブレーキ 4 の外周部に受けた穴で、1.5 はその
穴 1.4 を被りたわのカバーで、ねじ 1.6 によりリ
ヤプラケット 4 の外周部に固定される。
以上のような構成の自動車用交換器装置の部分
の組立は、まずもちらかじめリヤプラケット 4 の内
部の一部に副子保持部 5 を保子止め金具 6 をねじ
着装された伝子子 2 と、電子コイル 1.0 が巻き
された固定状態 1.7 とを組合せる。つきにリヤ
ブレーキ 4 の外周に掛けた穴 1.4 から副子アセンブリ
4 ハ 4 の上端したとく所定の位置にねじ 1.3 で固
定させ、最後にカバー 1.5 がねじ 1.6 で固定する。

水牛付けされる。以上のようにうたは子床持お 2 と
うたは子床持お 1 をセンブリしたものと呼
ぶ。うたは子床持お 2 と 3 は、うたは子床持お 1 と
2 と 3 の 3 の先端部
3 0 もを尖先で引び上げる。その点が 7 位によ
いて“うたは子”と、B となるようレシ 3 の T 字次品
3 0 ほど尖先部 3 0 の差違差を決めておく。セ
ンブリは尖端部 2 5 を削除して、差違部 2 7 と尖
てて尖先部 3 0 の Q 部がラケット 4 に付けて
尖 2 8 より突出した瞬間、Q 部がハネカたため
方向に張りがり、差違部 2 7 と上り、組立の際から
直面なくスリップリンク 1 および受 3 が差違部 2 8 と組合せることで
組合せた後レシ 3 0 を挿入した時と同
様になるより 9 0 を組合せさせたのを引抜げば、
分子 8 はスリップリンク 1 にて変色される。ここで
分子保持器 1 にて付いた部 2 4 はレシ 3 0 の大き
さ E に対して 80% ないし G が約 2 倍程度の寸法であれ
ば、組立の時に変色なく、したがつて多岐じも
抜けなくてよい。

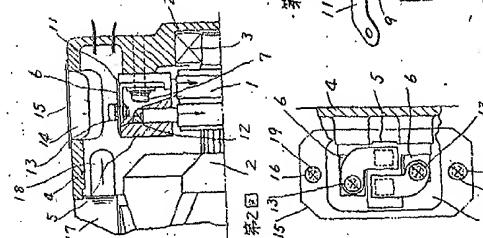
以上のようを組合において、自転車用紙を機器
の端、からかじめリヤラケット 4 に差けた穴
8 および横溝溝持部 2 1 に差けた穴 2 3、ど
うしたものがうたは子床持お 2 3 と 1 は 3 0 は 1 つの
3 0 を対応させる。このレシ 3 0 は 1 つのには
組合から先端を 7 文字状に曲げて成形させ
たもので、第 8 回に示したとく“子供の水や
3 0 3 0 を角穴 2 3 の長辺に沿つて挿入後レシ
0 0 9 0 を回転させ、うたは子床持お 2 1 と、うたは子
床持お 3 0 の 3 の先端部
3 0 もを尖先で引び上げる。その点が 7 位によ
いて“うたは子”と、B となるようレシ 3 の T 字次品
3 0 ほど尖先部 3 0 の差違差を決めておく。セ
ンブリは尖端部 2 5 を削除して、差違部 2 7 と尖
てて尖先部 3 0 の Q 部がラケット 4 に付けて
尖 2 8 より突出した瞬間、Q 部がハネカたため
方向に張りがり、差違部 2 7 と上り、組立の際から
直面なくスリップリンク 1 および受 3 が差違部 2 8 と組合せることで
組合せた後レシ 3 0 を挿入した時と同
様になるより 9 0 を組合せさせたのを引抜げば、
分子 8 はスリップリンク 1 にて変色される。ここで
分子保持器 1 にて付いた部 2 4 はレシ 3 0 の大き
さ E に対して 80% ないし G が約 2 倍程度の寸法であれ
ば、組立の時に変色なく、したがつて多岐じも
抜けなくてよい。

この説明は以上の如くリヤラケット 4 の外
周端およびうたは子床持器 2 1 と、うたは子床持お 2 3 と 1
を接続するためのレシ 3 0 の組合穴穴 2 1 と、2 3 と 1 が

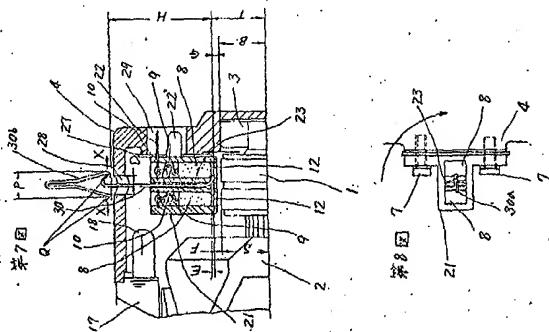
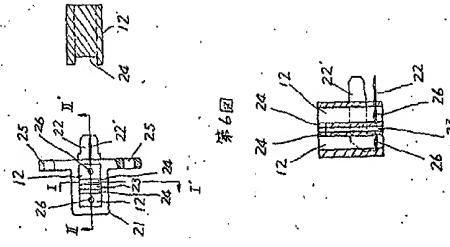
529049

カ。ビン 3 とビン 8 を並立時に支承しないよう保持することによって、硝子保持装置の温度点を絞り工数の減滅 (カバー 1-5、硝子止め金具 6、穴 1-4、ねじ 1-3、1-6の降順) でコストの削減、燃費の削減化による保守点検の容易さ等の効果をもげることができる。

13



卷二四



前記以外の発明者、特許権者または代理人

-34-